

こんにちは

-No.95

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所
TEL 395-4973

山田携帯
090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6



市議会
報告

日本共産党の代表質問（抜粋）

物価高騰

「暖房使わない」

「食事回数の減」などの声が相次ぎます。物価高騰により、市民生活はかつてない困難を強いられています。

Q. 市民の困窮状態を把握している？

A. 所得や境遇にも差があるが、可処分所得（税金や社会保険料など必須支出を差引いたあとのお金）が減り、厳しい方がいることは認識。

→解決できず、相談を諦めてしまう方がいます。解決するまで支えられる人数体制と、実態に見合った制度づくりができるよう、窓口は委託ではなく職員対応を求めました。

平和

高市政権のもと、非核三原則の見直しが危ぶまれています。

Q. 時の政権の考えで、非核三原則を見直すことは許されない。市長の考えは？

A. 核戦争は最大の人権侵害。国も平和理念を守る立場であると認識。

→2023年、市議会も非核三原則の維持を求める意見書を国に出しています。何としても守りましょう！

教育

八坂小学校のセンター給食への移行、化成小児童クラブの校舎内移転など、子どもたちの学校の大きな転換が計画されています。

Q. 子どもたちの意見の聞き取りと反映はどのように行うの？意見表明の保障は？

A. アンケートなどで聴取した。様々な声があったが、全ての実現は難しい。

→まさにこどもの意見表明の実践の場ですが、活かされていないと感じます。来年、意見表明推進事業を1,000万円かけて民間が行うそうです。

約1時間40分に渡り、市長に14項目の質問を行いました。対話の中で同う声を届け、市政に反映させていくため、引き続き取り組んでまいります。

選挙

突然の解散総選挙で、職員は休日出勤、休日返上、残業で対応。投開票所となる公共施設利用者へはキャンセルを依頼しました。

Q. 解散権の行使の在り方や乱用を防ぐ制度や議論が必要。声をあげた首長もいる。市長の考えは？

A. 職員はよくやってくれ、協力いただいた市民の皆さんにも感謝。でも、国政の話。国会でしっかり議論してほしい。

→選挙は国から受ける事業ですが、市長には職員と住民を守る役割があります。

活動報告・今後の日程

2月14日 市民交流事業

「高次脳機能障害と共に」

北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会主催の講演会へ。

人間にとって「ことば」とは？人と気持ちを伝えあう道具である前に、「世界」を整理し、理解するための「枠」であるとのこと。その、「ことば」を失う失語症とは…

オンデマンド配信がありますので、お声かけください。

2月17日 議員研修会

多磨全生園へ。2025年3月、全生園の将来構想が発表されました。入所者のみなさんの想いをどうつなぎ、全生園をどう残していくか。市民のみなさんと一緒に考えていかなければならない、大切な取組です。

3月11日 東村山リレートーク

原発のない平和な未来を！

14時30分～久米川駅南口

福島原発事故で、平穏な生活が奪われた方々。避難せずに被ばくし続けるか、避難した先で「自己責任」と押し付けられるか、究極の選択を迫られました。首都圏で使う電気のために、原発のある地域にこれ以上リスクと負担を押し付けることはできません。

